

激しい大雨…、まずは危険回避行動を！！



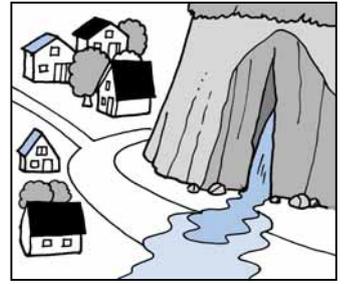
▲気象情報や周辺の様子に注意を払おう。



▲夜間の行動は危険。明るいうちに避難の開始を。



▲地下には入らない。水で閉じ込められる危険が！



▲土砂災害に注意し、危険箇所から早めに移動を。

危険を感じたら、早めに避難をするよう心掛けることが、災害から身を守るにつながります。

避難する前に



▲あらかじめ避難場所やその経路を確認しておこう。



▲ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを切る。



▲動きやすい格好で、荷物は必要最小限に。



▲支援が必要な人たちの避難に協力しよう。

災害に備えて、日頃から家族や隣人などと避難時の行動について話し合っておくと、いざというときに役立ちます。

避難の途中では



▲安全を確認しながら慎重に行動しよう。



▲途中で危険を感じたら近くの頑丈そうな高い建物へ。



▲単独行動は避け、二人以上で行動を。



▲自動車での避難は、渋滞や浸水で動けなくなる危険が！

自動車での避難は、緊急車両の通行や水防活動の妨げにもなるので避けましょう。

日頃からの備えが大切～防災訓練

◇手稲区防災訓練◇



年に一度、手稲区では、地域防災力の向上を図るために、防災訓練を行っています。平成26年度の訓練は、8月29日(金)9時30分から11時30分まで、「てっぽく・ひろば」と隣接する手稲鉄北小学校体育館(ともに前田2条12丁目)で開催します。

もしもの水害に備えて



大雨・洪水を想定しての防災訓練が平成25年10月5日に新発寒朝日町内会で実施されました。住民を指定の避難場所に誘導する訓練や防災講演などに約130人が参加しました。



平成25年8月23日に手稲区と手稲区災害防止協力会が合同で、河川の水位を調整する「樋門」の操作方法や浸水危険箇所を確認する水害に備えた防災訓練を行いました。